

はしがき

鎌倉市図書館が、神奈川県内の公立図書館としてはじめて100周年を迎えました。その記念式典が7月20日、開催され、私も神奈川県図書館協会長として、お祝いの言葉を述べる機会をいただきました。

鎌倉市図書館は、戦前、そして戦後、神図協の設立、再建など大事な局面で、図書館の連携・協力を引っ張ってきたというお話をさせていただきました。

県立図書館の設置にあたっては、神図協がその運動の中心になります。当然、県立図書館に期待される役割は、神図協の活動・取組みと重なります。

居県立図書館の紅葉坂の建物は、60年前、後に国立国会図書館を設計する前川國男が鬼頭梓らとともに、「民衆のための公共図書館」として、設計したものです。そこには、図書館が相互に有機的に連携し、協力して、県域の隅々まで、さまざまな要求に応じてサービスを提供する姿が構想されています。

1955年、県立図書館を紹介する鬼頭の文章があります。「新建築」という雑誌に掲載されました。その一節です。

「市の大きな図書館は自分の支部図書館を持つであろうし、又、近接する市町村の図書館は、そのサービスの全体又は部分について契約を結んで協力の組織を持つであろう。又それらの町や市から遠い辺僻な部分は、県の図書館が直接自分の支部図書館を持ちブックモービルによって常に新しい書物を提供するであろう。県、市、町、村の図書館は、又相互にサービスを提供しあい、協力し合うであろう。これらの事は、現在ほとんど円滑に行われていない、その現状がたとえどれほど絶望的であったにせよ、やがては活発に動き始めるに違いない。鉄筋コンクリートの耐用年数がもし、200年であるとするならば、図書館建築は、図書館の現状よりはむしろ将来への正しい見通しによって建てられなければならない。」

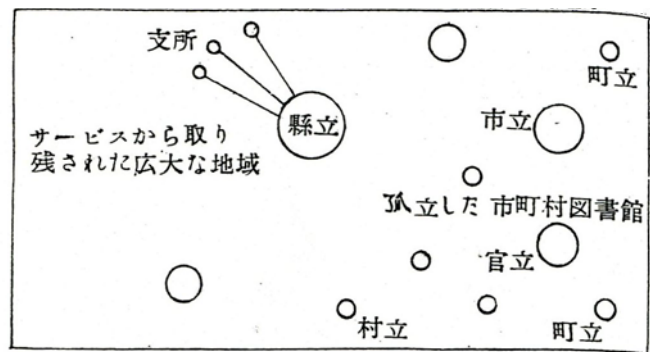
60年経ちました。現在では、県内の多くの図書館が館種を超えて相互に協力連携し、市民や企業、地域のさまざまな組織活動の課題解決に向けて、サービスを提供しています。

この「神奈川の図書館」は神図協に加盟する公共図書館75、大学図書館37、専門図書館16、合計128施設の図書館の活動状況等を表した基礎データ集です。

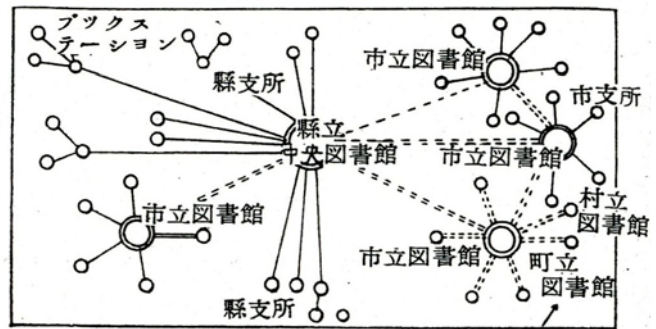
図書館の関係者はもとより、生涯学習、学校教育、研究開発、産業振興、社会福祉、地域づくりなどの分野で活躍される多くの方々に図書館を理解する資料として活用いただけることを願っています。

2011年9月

神奈川県図書館協会
会長 林 秀明



現状図



将来の予想図

実線は直接行政的な連りのあるサービスの関係を示し、点線は直接行政的な連りのないサービスの交換を示す。

◎は資料のストックをもつ図書館

○はストックのない図書館或は先端の本の置場で◎より資料の供給を受ける

「新建築」30巻1号 (1955) より

神奈川県内図書館等の動き

(2010年4月～2011年3月)

1 はじめに

1) 加盟館数(2011年4月現在)

公共図書館 75 館、大学図書館 37 館、専門図書館 16、合計 128 館、個人会員の加入数は 14 名

※神奈川県立外語短期大学図書館が 2011 年 3 月に退会、大倉精神文化研究所附属図書館が 2011 年 4 月に入会、個人会員が 2010 年 9 月、2011 年 4 月に入会した。

2) 公立図書館等の設置状況

県立は 2 館設置

市については 19 市の全市が設置

町村については、図書館(室)条例制定は 14 町村のうち 7 町(葉山町・寒川町・大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町・清川村)となり、町村の設置率は 50%

その他公民館条例等により図書館活動を行っている町は 7 町

3) 本協会の動き

- (1) 第 12 回図書館総合展(パシフィコ横浜開催)に参加、ブース展示「うちの広報、ここがウリ！」(広報委員会が担当)及び、フォーラム「地域住民に必要と認知される図書館になるために」(研修委員会が担当) (2010年11月)
- (2) 広報委員会 上記図書館総合展にあわせリーフレット『本と情報の森へ！』を改訂 (2010年11月)

2 公共図書館

- (1) 松田町図書館 「住民生活に光を与える交付金」を申請し、2011 年に図書館の新しいシステムを購入(予算年は 2010 年)。 (2010年3月)
- (2) 神奈川県立図書館 ①組織改正により 4 部 9 課から 2 部 6 課に変更 ②神奈川県生涯学習情報センターは、県立図書館横浜駐在事務所として、オンラインの図書館業務システムを導入 (2010年4月)
- (3) 神奈川県立川崎図書館 組織改正により 2 部 6 課から 1 部 4 課に変更 (2010年4月)
- (4) 横浜市中央図書館 中央図書館司書補助業務委託、及び書誌作成業務委託導入 (2010年4月)
- (5) 横浜市山内図書館 指定管理者による運営を開始、あわせて火～金曜日の開館時間を午後 8 時 30 分まで延長 (2010年4月)
- (6) 川崎市立図書館 ①自動車文庫麻生区内ポイント移設(岡上→はるひ野) ②和光大学図書館と川崎市立図書館との物流を含む相互貸借開始 (2010年4月)
- (7) 秦野市立図書館 リユースコーナーの設置 (2010年4月)
- (8) 座間市立図書館 平成 22 年度子ども読書活動優秀実践図書館に選ばれ、文部科学大臣表彰を受ける。 (2010年4月)
- (9) 川崎市立図書館 市立図書館全蔵書を対象とした IC タグ貼付作業(2 年目) (2010年6月～2011年2月)
- (10) 二宮町図書館 ブックスタート(保険予防課と共催) (2010年6月)
- (11) 相模原市立相模大野図書館 一般利用者に、人気本の寄贈を募る「ブックシェア」を開始 (2010年6月)
- (12) 川崎市立図書館 二ヶ領用水竣工四百年記念関係事業(市内複数館で企画展示ほか) (2010年夏～2011年春)
- (13) 横浜市立図書館 国民読書年事業として「ヨコハマ、本の虫宣言～2010 年は国民読書年」を開催 (2010年7月)
- (14) 藤沢市図書館 7 月 1 日より大和市、綾瀬市と広域利用を開始 (2010年7月)
- (15) 大和市立図書館 藤沢市との相互利用協定開始 (2010年7月)
- (16) 相模原市立相模大野図書館 不要になった図書館の本を市民に提供するため、「くるくるブックコーナー」を開設 (2010年7月)
- (17) 大和市立図書館 ブックスタート事業開始 (2010年8月)
- (18) 横浜市立図書館 「横浜市立図書館司書人材育成計画」策定 (2010年9月)
- (19) 川崎市立図書館 図書館総合システムに対応する中学校図書館の図書データ登録完了 (2010年9月～2011年3月)
- (20) 伊勢原市立図書館 図書館電算システム更新 (2010年9月)
- (21) 川崎市立図書館 「川崎フロンターレと本を読もう！」(フロンターレ・コーナー設置等・選手、監督たちの推薦図書リーフレット『キックオフ！“読書のまちかわさき”vol.2』/オリジナル紙芝居「フロンタくん と ワルンタくん 対決！闘将カーン」/特製しおりの発行・配布・等々力競技場での「ブックランド Todoroki」(リユース本配布、上記紙芝居の上演等)の開催/市立小中学校や地区図書館での選手によるお話し会やカルタ大会) (2010年秋～冬)

- (22) 神奈川県立図書館 生涯学習情報センターでのサービスを拡充、これまでの窓口サービスに加え、利用者登録が可能に。(2010年10月)
- (23) 相模原市立図書館 「くるくるブックフェア一本のリサイクル」を開催。最終回(2010年10月)
- (24) 座間市立図書館 ①第1回図書館を使った調べる学習コンクール座間予選表彰式 ②「子どもの本の環境づくり」シンポジウム開催(2010年10月)
- (25) 海老名市立図書館 図書館システム・機器の更新(2010年11月)
- (26) 二宮町図書館 ①新図書館開館10周年 ②『二宮ゆかりの人物ガイドブック～近現代文学を中心に～』刊行(新図書館開館10周年記念)(2010年11月)
- (27) 大和市立図書館 大和駅及び中央林間駅にブックポストを設置(2010年12月)
- (28) 横浜市山内図書館 有料宅配サービスの試行開始(2010年12月)
- (29) 川崎市立図書館 国民読書年記念読書普及講演会(講師:北村薫氏)(2010年12月)
- (30) 海老名市立図書館 ①貸出冊数上限の変更(5冊→10冊) ②インターネット・電話での貸出延長手続き開始(2010年12月)
- (31) 横浜市立図書館 ①「横浜市立図書館アクションプラン」を策定 ②「横浜市教育振興基本計画」策定。図書館サービスの充実、交通の拠点となる鉄道駅での図書取次サービスなど、市民に身近で便利な図書館サービスの一層の充実についての検討を計画。(2011年1月)
- (32) 相模原市立図書館 「くるくるブックコーナー」の開設(2011年1月)
- (33) 葉山町立図書館 ライブラリーカード再発行は1枚100円を徴収する。(2011年1月)
- (34) 県立の図書館 県内在住者を対象に宅配貸出サービス、郵送による登録受付開始(2011年3月)
- (35) 横浜市立図書館 ①「蔵書再構成5か年計画」を策定 ②「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」策定(2011年3月)
- (36) 川崎市立図書館 ①川崎駅前地下街に返却ポストを新設 ②大震災による臨時休館(1日)、開館時間短縮、新規予約受付停止(4月1日まで)(2011年3月)
- (37) 相模原市の図書館 第二次子ども読書活動推進計画策定(2011年3月)
- (38) 海老名市立図書館 東日本大震災の影響により2日間の臨時休館。夜間開館を休止。(2011年3月)
- (39) 大磯町立図書館 3月11日の地震により、計画停電による開館時間の短縮、講座・映画会等行事の中止等を行った。(2011年3月)

3 大学図書館

- (1) 横浜商科大 2009年度に引き続き、みどりキャンパス図書室は休館(2010年度)
- (2) 神奈川大学図書館 平塚図書室がスペース拡充に伴い、平塚図書館となる(4月1日付)。それに伴い、平塚図書室長も平塚図書館長に役職名称が変更。また、大学事務局組織改編があり、4月1日より4課編成から、総合サービス課、資料サービス課、平塚図書課の3課編成となる。(2010年4月)
- (3) 専修大学図書館 春の企画展「書物の美にふれるー西洋における装飾術の継承ー」(2010年4月)
- (4) 日本大学生物資源科学部図書館 図書館オリエンテーション・館内ツアー開催(2010年4月)
- (5) 日本大学生物資源科学部図書館 企画展(国民読書年:話題の本コーナー設置)(2010年4~5月)
- (6) フェリス女学院大学附属図書館 読書運動プロジェクト「フェリスの一冊の本」2010年度テーマ:環境『センス・オブ・ワンダー』、『おくのほそ道』(2010年4月~2011年3月)
- (7) 明治大学生田図書館 4月1日より、川崎市民(在勤者を含む)への一般開放を開始(2006年4月以降の多摩区民への一般開放をさらに拡大)。(2010年4月)
- (8) 日本大学生物資源科学部図書館 学生選書ツアー開催(2010年5月)
- (9) フェリス女学院大学附属図書館 学院創立140周年記念事業貴重資料展示(2010年5月~2011年1月)
- (10) 湘南工科大学附属図書館 藤沢市に加えて(2000年~)、茅ヶ崎市立図書館と5月に資料相互利用協定を締結。6月1日から相互利用を開始。(2010年6月)
- (11) 日本大学生物資源科学部図書館 図書館データベース・電子ジャーナル利用講習会開催(2010年6月)
- (12) 専修大学図書館 夏の企画展「光源氏転生ー源氏物語千年紀プラス」(2010年7月)
- (13) 神奈川県立保健福祉大学附属図書館 夏季休業期間中、開館時間19時までを試行(2010年8~9月)
- (14) 神奈川大学図書館 ①2階閲覧室にパソコン29席設置(横浜図書館)。②視聴覚室の機器の入れ替えをした(横浜図書館)。(2010年8月)
- (15) 産業能率大学図書館 図書館システムのリニューアル(2010年8月)
- (16) 産業能率大学図書館 新図書館システム稼働開始(2010年9月)
- (17) 湘北短期大学図書館 絵本用、視聴覚用書架の増設(2010年9月)

- (18) 専修大学図書館 専修大学図書館と川崎・砂子の里資料館との合同企画展「江戸の文華－戯作と浮世絵－」(場所:アートガーデンかわさき) (2010年10月)
- (19) 日本大学生物資源科学部図書館 ①藤沢市の公衆無線LANアクセスポイントを図書館内に設置 ②藤桜祭コラボ企画:リサイクル雑誌大放出版開催, リユース推奨 (2010年10月)
- (20) 小田原女子短期大学図書館 図書館所蔵資料展開催 (一般公開)「絵本作家ターシャ・テューダーの世界」<小峰祭同時開催 2010年10月10日(日)・11日(月・祝)> (2010年10月)
- (21) 日本大学生物資源科学部図書館 ①学生選書ツアー開催 ②図書館データベース・電子ジャーナル利用講習会開催 (2010年11月)
- (22) フェリス女学院大学附属図書館 横浜市はまっ子読書フェスティバル参加 (2010年11月)
- (23) 湘北短期大学図書館 図書館総合展ポスターセッション出展 (2010年11月)
- (24) 日本大学生物資源科学部図書館 冬季休暇長期貸出サービス実施 (2010年12月)
- (25) 神奈川県立保健福祉大学附属図書館 冬季休業期間中、開館時間 19 時までを試行 (2011年1月)
- (26) 神奈川県立保健福祉大学附属図書館 春季休業期間中、開館時間 19 時までを試行(ただし、東日本大震災の影響で、3月14日以後は図書館の閉館時刻を16時までまたは17時までに短縮した。) (2011年2～3月)
- (27) 日本大学生物資源科学部図書館 推薦入学試験合格者等入学前図書館利用実施 (2011年2月)
- (28) フェリス女学院大学附属図書館 フェリス女学院創立140周年記念朗読会 (2011年2月)
- (29) 桐蔭横浜大学大学情報センター 東日本太平洋沖地震(3/11)による計画停電等対応により休校、臨時休館(3/15～3/31) (2011年3月)
- (30) 日本大学生物資源科学部図書館 東日本大震災による臨時休館 3/12～3/23, 3/26～3/28, 3/31の12日間 (2011年3月)

4 専門図書館

- (1) 大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「大倉邦彦と富士山展」 (2010年3～5月)
- (2) 大倉精神文化研究所附属図書館 大倉山講演会「幕末・明治の異文化体験」(全4回) (2010年4～6月)
- (3) 神奈川県ライトセンター 第1回ライトセンター音楽祭開催(参加者351人) (2010年6月)
- (4) 大倉精神文化研究所附属図書館 公開講演会「著作権保護期間延長は創作活動を阻害する」 (2010年7月)
- (5) 大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「信念の人、大倉邦彦」 (2010年7～8月)
- (6) 神奈川県立神奈川近代文学館 ①神奈川文学振興会が、引き続き2011年4月からの神奈川近代文学館第2期指定管理者となることが決定 ②神奈川県実施の事務事業評価において、文学館運営事業が総合評価でAランクを取得 (2010年8月)
- (7) 神奈川県ライトセンター 施設公開「ライトセンターフェスティバル2010」開催(参加者2,142人) (2010年11月)
- (8) 大倉精神文化研究所附属図書館 ①第26回秋の芸術祭参加企画講演会「明治天皇の作られたイメージ」 ②資料展「八十五年前の絵はがきで訪ねる世界遺産」 (2010年11月)
- (9) 神奈川県立神奈川近代文学館 神奈川文学振興会は、3月31日付けで県公益認定等審議会から認定を受け、4月1日付けで「公益財団法人神奈川文学振興会」へと移行 (2011年3月)
- (10) 神奈川県立地球市民かながわプラザ情報フォーラム・映像ライブラリー 2010年度末で(財)かながわ国際交流財団の指定管理業務が終了し、2011年度より(社)青年海外協力協会が指定管理者として施設の運営にあたることになった。 (2011年3月)
- (11) 大倉精神文化研究所附属図書館 資料展「ももたろうがモモタラウだったころ－昭和の初めの幼児雑誌」 (2011年3～6月)

5 刊行物 <神奈川県図書館協会編集・刊行>

●神奈川県郷土資料集成 第13集 神社明細帳(三浦郡)	2,500円
●神奈川県郷土資料集成 第12集 相模国鎌倉郡村誌	5,000円
●神奈川県郷土資料集成 第11集 神奈川地誌	1,800円
●神奈川県郷土資料集成 第8集 和歌篇	1,400円